

当初予算に対する各会派の討論

平成27年度一般会計当初予算に対する3月30日の本会議での、各会派及び無所属議員による討論の概要をお知らせします。

◇討論の詳しい内容は会議録に掲載します。会議録の発行予定等については10面「第1回定例会会議録の公開予定」をご確認ください。

日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

反対

市民負担増をやめ自治体の役割を果たせ

①国民健康保険料、介護保険料、保育料の引き上げで市民の暮らしはますます厳しさを増す。さらに、がん検診有料化、国保料や保育料などの引き上げ計画が検討される。住民の暮らし・命を守る自治体本来の役割を投げ捨てるものだ。行財政改革大綱アクションプランの撤回を求める。

②子どもの権利条例制定と小中学校の就学援助や学校図書館専門員の拡充に極めて消極的で、貧困から子どもたちを守る立場に欠けている。

③庁舎統合方針(案)及び中央図書館と田無公民館の市民会館への合築複合整備事業については、十分な議会説明・報告がないまま方針(案)決定や合築複合化整備事業の予算計上がされた。これは議会軽視につながる。

自由民主党西東京市議団 保谷 なおみ

賛成

国史跡下野谷遺跡の積極的活用を進めよ

過去最大の予算規模となったが、増加の主な理由は市債である。内訳は(仮称)第10中学校整備事業費として35億3,070万円、下野谷遺跡用地購入事業で10億8,490万円となり、この2つを除くと、平成26年度よりも市債額は低い。下野谷遺跡用地購入事業費に充てる市債は、返済時に国8割、都1割、市1割の負担となっており、市の後年度負担は重くない。また、下野谷遺跡は国史跡に指定された。その重さを自覚し、今後は適切な保存と積極的な活用に努めてもらいたい。さらに、市民会館の合築建てかえと庁舎統合案については、現状考え得る最良のものだ。公共施設の総量抑制、複合化に合わせ、事業も複合化を行い、物件費の抑制を図るべき。

無所属 森 てるお

反対

原則的な財政運営で自立した西東京市へ

自治体財政の原則は単年度主義。国が補てんとすると約束した合併特例債や臨時財政対策債の返済額は地方交付税で賄えず、新たな借金で返済。社会保障・税番号制度は、今後、本格的に予算計上される。市民周知はされておらず、議会への説明も行われていない。情報漏えいやなりすましのリスクがある。予算執行をとめて市民や議会に十分な説明をすべき。田無公民館・中央図書館・市民会館の現市民会館敷地への合築方針は議会に伝えられず、丸山市政は議会軽視と独断専行だ。西武池袋線の踏切閉鎖の不便解消について都と交渉しないなど、自立した自治体を目指す気概がない。都の補助金を受けた後は自己負担増。国・都に追随した予算に反対する。

西東京市議会公明党 大林 光昭

賛成

市民の声に応える市政運営を望む

本予算では、介護支援ボランティアポイント制度の検討、高次脳機能障害者支援員の配置、認可保育園2園・学童クラブ1施設の開設、高齢者肺炎球菌予防接種時期の拡充、「はなバス」ルートの見直し、雨水溢水対策、街路灯のLED化、下野谷遺跡の保存・活用、(仮称)第10中学校の整備や学校校舎等の非構造部材耐震化・大規模改修工事などが計上されている。西東京市議会公明党の予算要望を反映しており、市民の声をもとに推進を主張してきたこれらの事業を総合的に評価するとともに、児童虐待防止策の早期公表、中学校給食の自校方式の検証、庁舎統合方針の検討では市民への情報提供と市民意見を反映する配慮を求めて、本予算に賛成する。

無所属 納田 さおり

反対

しがらみ予算で将来にツケを残すな!

過去最大の予算規模の原因は、(仮称)第10中や下野谷遺跡の用地購入だけではなく、勤労者福祉サービスセンター補助金の329%に及ぶ増大や、(仮称)ひばりが丘三丁目緑道公園をURの求めるまま市の公園にしたこと、突如として予算計上された(仮称)富士町多目的運動広場工事費など、しがらみだらけの誰にでもよい顔をする予算編成が行われたからだ。今後も庁舎統合や田無駅南口駅前広場開発、(仮称)第10中の新築、中原小の建てかえなど大型建設需要が見込まれるが、総合計画の財政フレームを中長期的に見直す方針を持たないことは、計画行政や財政規律への不誠実のあらわれ。将来市民に対し、本予算への「NO」というメッセージを残す。

統一会派みらい 桐山 ひとみ

賛成

市民会館の合築複合化案を凍結せよ!

一般会計予算総額は762億7,100万円と、過去最大の予算規模となった。年々財政の硬直化が進む厳しい現状が続く中、市債である(仮称)第10中学校、下野谷遺跡の用地購入費で予算額を大きく押し上げた。我々の会派はおおのの所属政党は違えど、互いの主義主張で議論し結論を出すというスタンスで審査に臨んだ。本予算を判断する上で、がん検診有料化の見送り、庁内組織の連携強化等は評価したが、現市民会館敷地での公民館・図書館との合築複合化案の決定経緯は納得できず凍結すべき。情報提供不足、市民不在、議員と議会への不誠実さを指摘し、情報提供、質疑時間の担保等丁寧に対応するまで予算執行しないよう要望し苦渋の決断だが賛成した。

民主改革フォーラム 坂井 かずひこ

賛成

みんなが輝く歩みを着実に進めよ!

①介護保険制度改正後も利用者が今までのサービスを受けられるようにせよ。②地域包括支援センターの相談・人員体制を強化せよ。③がん検診受診の条件を「前年度未受診者」に改正せよ。④多摩六都リレーマラソン大会で市のPRブースを設置せよ。⑤市内小・中学校で五輪教育に取り組め。⑥公共施設適正配置でIT等の技術革新を加味せよ。⑦はなバス第4ルートを田無駅・多摩六都科学館・花小金井駅を結ぶ経路に変更せよ。⑧在宅医療廃棄物の廃棄費用を補助せよ。⑨乳幼児の健診場所を拡充せよ。⑩中学校で危険ドラッグ等の薬物教育を実施せよ。⑪耐震改修助成金申請基準に市内業者利用を加えよ。以上の項目の実施を求め賛成する。

生活者ネットワーク 後藤 ゆう子

賛成

子どもと高齢者をつなぐ政策を目指せ

児童虐待防止に向けた相談体制の拡充と、認可保育所・学童クラブの新設による定員拡充、地域包括ケアシステムに向けたコミュニティの基盤づくり、生ごみ・剪定枝収集量の拡大など、評価できる取り組みを確認した。高齢者の支え合いにつながる(仮称)いこいーなカフェ、ボランティアポイントの制度設計には、子育て支援との分野横断的な視点を盛り込むよう求める。障害者総合支援センター「フレンドリー」といこいの森公園の指定管理者導入は、真に市民益につながる事業となるか注視していく。庁舎統合及び市民会館・中央図書館・田無公民館の合築複合化は、十分な情報提供と適切なタイミングで意見聴取を行うことを強く求め賛成とする。